

2013(平成25)年7月8日

池田町長 岡崎和夫 様

放射線物質拡散シミュレーションの住民説明会の開催を求める申し入れ書

さよなら原発・ぎふ (池田町民)

日頃、住民の生命・財産の安全を守る職務にご精励いただきありがとうございます。

さて、岐阜県は昨年9月に敦賀原発の過酷事故を想定して放射性物質拡散シミュレーションを行いました。これを踏まえ、私たちが今年5月に対策強化地域とされた25の自治体にアンケート調査を行ったところ、最大で岐阜県内98万人の避難が想定されていることが明らかになりました。池田町も全町避難、岐阜県第二の都市である大垣市、県庁所在地の岐阜市、いずれも全市避難を考えていることがわかりました。

この放射線物質拡散シミュレーションは大変重要な分析であるにもかかわらず、残念ながら、町民にきちんと説明されているとはいえません。災害対策(防災)計画は、住民が問題の所在を理解して行動できるものでなければ、全くの画餅にすぎません。

他方、敦賀半島に密集する原子力施設は、非常に危険性が高いものばかりです。敦賀第1、美浜第1・第2は、40年超の老朽原発です。敦賀第2の直下には活断層があります。「もんじゅ」は呆れるほど杜撰な管理状況で無期限の運転停止となっています。

本年6月に採択された貴町議会の意見書でも、これらの原子力施設への大きな懸念が示され、国の対応を求めています。敦賀半島の危険な原子力施設の廃炉は、多くの町民の願いです。しかし、現状では残念ながら再稼動する可能性も残されています。

事故が起きた際、池田町の全住民が混乱なく速やかに避難できるものでしょうか? 避難手段は確保できるのでしょうか? 避難先(受け入れ先)は存在するのでしょうか? しかも町役場、県総合庁舎、警察署、消防署、病院、学校など全てが機能しなくなる中での避難となるのです。そして避難は相当に長期にわたると覚悟しなければなりません。

池田町民の生命・生活を守る責務を担う貴職に以下のことを申し入れます。

記

1. 放射性物質拡散シミュレーションの説明会を速やかに、かつ、きめ細かく行って下さい。

池田町も対策強化地域自治体と指定され、これから具体的な避難計画づくりに入るものと存じます。避難計画などの防災計画づくりは、地域住民の理解と参加がなければ実効性のあるものとはなりません。具体的な計画策定を行う前に、県、他自治体と協力し、放射性物質拡散シミュレーションの町民向け説明会を、速やかに、かつ、きめ細かく行って下さい。

以上

さよなら原発・ぎふ 〒501-0425 本巣郡北方町若宮 2-67 TEL/FAX 058-323-2534

()

2013(平成25)年7月8日

神戸町長 谷村成基 様

放射線物質拡散シミュレーションの住民説明会の開催を求める申し入れ書

さよなら原発・ぎふ (神戸町民)

日頃、住民の生命・財産の安全を守る職務にご精励いただきありがとうございます。

さて、岐阜県は昨年9月に敦賀原発の過酷事故を想定して放射性物質拡散シミュレーションを行いました。これを踏まえ、私たちが今年5月に対策強化地域とされた25の自治体にアンケート調査を行ったところ、最大で岐阜県内98万人の避難が想定されていることが明らかになりました。神戸町も全町避難、岐阜県第二の都市である大垣市、県庁所在地の岐阜市、いずれも全町・全市避難を考えていることがわかりました。

この放射線物質拡散シミュレーションは大変重要な分析であるにもかかわらず、残念ながら、町民にきちんと説明されているとはいえません。すでに神戸町でも策定が進められている防災計画(原子力災害対策)は、住民が問題の所在を理解して行動できるものでなければ、全くの画餅にすぎません。

他方、敦賀半島に密集する原子力施設は、非常に危険性が高いものばかりです。敦賀第1、美浜第1・第2は、40年超の老朽原発です。敦賀第2の直下には活断層があります。「もんじゅ」は呆れるほど杜撰な管理状況で無期限の運転停止となっています。

本年6月に採択された神戸町議会の意見書でも、これらの原子力施設への大きな懸念が示され、国の対応を求めています。敦賀半島の危険な原子力施設の廃炉は、多くの町民の願いです。しかし、現状では残念ながら再稼動する可能性も残されています。

事故が起きた際、神戸町の全住民が混乱なく速やかに避難できるのでしょうか？ 避難手段は確保できるのでしょうか？ 避難先(受け入れ先)は存在するのでしょうか？ しかも町役場、県総合庁舎、警察署、消防署、病院、学校など全てが機能しなくなる中での避難となるのです。そして避難は相当に長期にわたると覚悟しなければなりません。

神戸町民の生命・生活を守る責務を担う貴職に以下のことを申し入れます。

記

1. 放射性物質拡散シミュレーションの説明会を速やかに、かつ、きめ細かく行って下さい。

神戸町も対策強化地域自治体と指定され、原子力防災計画の策定が行われ、パブリックコメントの手続きに入っています。避難計画などの防災計画づくりは、地域住民の理解と参加がなければ実効性のあるものとはなりません。計画策定と平行して、県、他自治体と協力し、放射性物質拡散シミュレーションの町民向け説明会を、速やかに、かつ、きめ細かく行って下さい。

以上

さよなら原発・ぎふ 〒501-0425 北方町若宮 2-67 T・F 058-323-2534

2013(平成25)年7月8日

大垣市長 小川敏 様

放射線物質拡散シミュレーションの住民説明会の開催を求める申し入れ書

さよなら原発・ぎふ (大垣市民 3名)

日頃、住民の生命・財産の安全を守る職務にご精励いただきありがとうございます。

さて、岐阜県は昨年9月に敦賀原発の過酷事故を想定して放射性物質拡散シミュレーションを行いました。これを踏まえ、私たちが今年5月に対策強化地域とされた25の自治体にアンケート調査を行ったところ、最大で岐阜県内98万人の避難が想定されていることが明らかになりました。岐阜県第二の都市である大垣市、県庁所在地の岐阜市、いずれも全市避難を考えていることがわかりました。

この放射線物質拡散シミュレーションは大変重要な分析であるにもかかわらず、残念ながら、市民にきちんと説明されているとはいえません。災害対策(防災)計画は、住民が問題の所在を理解して行動できるものでなければ、全くの画餅にすぎません。

他方、敦賀半島に密集する原子力施設は、非常に危険性が高いものばかりです。敦賀第1、美浜第1・第2は、40年超の老朽原発です。敦賀第2の直下には活断層があります。「もんじゅ」は呆れるほど杜撰な管理状況で無期限の運転停止となっています。

本年3月に採択された貴市議会の意見書でも、これらの原子力施設への大きな懸念が示され、国の対応を求めています。敦賀半島の危険な原子力施設の廃炉は、多くの市民の願いです。しかし、現状では残念ながら再稼動する可能性も残されています。

事故が起きた際、大垣市の全住民が混乱なく速やかに避難できるもののでしょうか? 避難手段は確保できるのでしょうか? 避難先(受け入れ先)は存在するのでしょうか? しかも市役所、県総合庁舎、警察署、消防署、病院、学校など全てが機能しなくなる中での避難となるのです。そして避難は相当に長期にわたると覚悟しなければなりません。

大垣市民の生命・生活を守る責務を担う貴職に以下のことを申し入れます。

記

1. 放射性物質拡散シミュレーションの説明会を速やかに、かつ、きめ細かく行って下さい。

大垣市も対策強化地域自治体と指定され、これから具体的な避難計画づくりに入るものと存じます。避難計画などの防災計画づくりは、地域住民の理解と参加がなければ実効性のあるものとはなりません。具体的な計画策定を行う前に、県、他自治体と協力し、放射性物質拡散シミュレーションの市民向け説明会を、速やかに、かつ、きめ細かく行って下さい。

以上

さよなら原発・ぎふ 〒501-0425 本巣郡北方町若宮2-67 TEL/FAX 058-323-2534